

100 years of Japanese Tableware - Okurabowen

6 / 7  
2019 / 8 sat / 28 sun

華  
め  
く  
洋  
食  
器

大倉陶園 100年の歴史と文化



渋谷区立 松濤美術館  
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14

TEL 03-3465-9421 <https://shoto-museum.jp>

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) \*毎週金曜日は午後8時まで(入館は午後7時30分まで)

休館日 月曜日(ただし、7月15日は開館)、7月16日(火)

入館料 一般500円(400円)、大学生400円(320円)、高校生・60歳以上250円(200円)、小中学生100円(80円)

\* ( )内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料 \*土・日曜日・祝休日及び夏休み期間は小中学生無料

\*毎週金曜日は渋谷区民無料 \*障がい者及び付添の方1名は無料

主催：渋谷区立松濤美術館、神奈川新聞社 特別協力：株式会社大倉陶園



1

大正8(1919)年に大倉孫兵衛、和親父子によって創設された大倉陶園は、日本を代表する洋食器メーカーとして世界に誇る作品を生み出してきました。「良きが上にも良きものを」の理念のもと生産される磁器は、フランスのセーヴルやドイツのマイセンなどの名窯にも比肩すると高く評価されています。品格を備えた洋食器は、皇室をはじめ、数多くの文化人や財界人に愛されたほか、老舗ホテルやレストランでも供され、日本の洋風文化の一翼を担ってきました。本展では、草創期から現在までの作品を通じ、その優れたデザインや品質を紹介するとともに、日本の洋食器文化における同園の役割を探ります。また、最新の調査結果を反映し、これまで知られることのなかった創業当時など戦前の様子を伝える資料も併せてご覧いただけます。この上なき美術品を作りたいと、最高級の磁器を追求し続けてきた大倉陶園の世界をお楽しみください。



2

特別講演会

「わたしと大倉陶園 — 大倉陶園デザイナー・百木春夫との関わり」

講師：三國 清三氏(オテル・ドゥ・ミクニオーナーシェフ)

聞き手：大平 奈緒子(本展担当学芸員)

7月14日(日) 午後3時30分～ 約1時間 地下2階ホール

\* 無料(要入館料) \* 定員80名(応募者多数の場合は抽選)

\* 往復はがき、またはメール(event@shoto-museum.jp)による事前申し込みが必要です

〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号をご記入の上、松濤美術館「講演会」係まで1通につき1名様まで申込可能。6月25日(火)必着

連続特別講座

いずれも午後2時から約1時間 地下2階ホール

①「大倉陶園社員(社史研究者)が語る大倉陶園の歴史とその技術」

6月15日(土) 講師：黒澤 学氏(株式会社大倉陶園)

②「大倉陶園の特徴と魅力—新発見の資料もふまえて」

6月30日(日) 講師：大平 奈緒子(本展担当学芸員)

③「日本洋食器のオール・デコ—大倉陶園、ノリタケなど」

7月13日(土) 講師：高波 真知子(当館副館長)

\* 無料(要入館料) \* 各回定員80名 \* 当日午後1時30分から整理券配布

大倉陶園ペインターによる出張実演

ペインター中嶋 祐紀氏(株式会社大倉陶園)による絵付けの実演をご覧いただけます

6月29日(土) 午後1時～/午後2時～/午後3時～ 各回約40分間 1階エレベーターホール

\* 無料(要入館料)

\* 事前予約の必要はありません。開催時間中、自由にご見学いただけます

大倉陶園のうつわでコーヒーブレイク

大倉陶園のカップ&ソーサーでコーヒーを楽しみませんか

★坪内 岩男氏(株式会社大倉陶園)の解説付きです

7月6日(土) 午前11時～/午後3時～ 各回約1時間 地下2階ホール

\* 無料(要入館料) \* 各回定員20名(応募者多数の場合は抽選)

\* 往復はがき、またはメール(event@shoto-museum.jp)による事前申し込みが必要です

〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号をご記入の上、松濤美術館「コーヒーブレイク」係まで1通につき1名様まで申込可能。6月18日(火)必着

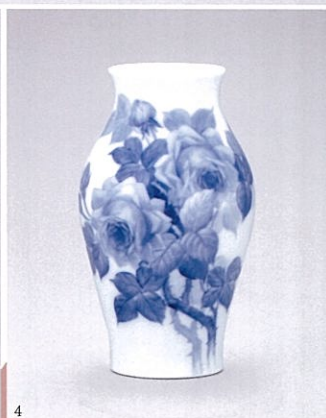
学芸員によるギャラリートーク

6月21日(金)、7月7日(日)、20日(土) 各日午後2時～ 約30分間

\* 無料(要入館料) \* 事前予約の必要はありません



3



4

1. 貴賓用特別食器揃(満洲国皇帝御儀を迎えるに際し製作) 1935年 奈良ホテル蔵

2. 色蒔玉ダテス碗皿 1935-45年 東京村田コレクション

3. 瑠璃透彫サーブ皿 1940-45年 個人蔵

4. 同染付薔薇花瓶 1935-45年 個人蔵

5. 鸚鵡 1928年 東京村田コレクション

表「一本のバラ」プレート(部分) 1990年 大倉陶園蔵 撮影：鈴木 心

館内建築ツアー

白井晟一設計の美術館建築を職員がご案内します

6月14日(金)、21日(金)、28日(金)

7月5日(金)、12日(金)、19日(金)、26日(金) 各日午後6時～ 約30分間

\* 無料(要入館料) \* 各回定員20名 \* 事前予約の必要はありません

次回展覧会のご案内

「美ら島からの染と織 — 色と文様のマジック」

2019年8月10日(土)～9月23日(月・祝)



京王井の頭線  
神泉駅下車徒歩5分  
JR・東京メトロ・東急電鉄  
渋谷駅下車徒歩15分

